

# 東京教区パワーシフト・キャンペーン

## ニュースレター No.2

### 講演会終了！ご参加、ありがとうございました！

5月30日、国際環境NGO FoE(Friend of the Earth Japan)の吉田明子さんによる講演会が終了！東京教区全教会から計80名程がご参加くださいました。また、近々講演会の映像を共有予定ですので、本紙と合わせ、各教会・礼拝堂での学びや話し合いのためにご活用ください。

#### 「地球環境のために祈る日」のこと

2020年、日本聖公会第65定期総会にて、6月5日の世界環境デーの直近の主日が、「地球環境のために祈る日」に定められました（今年は6月6日）。毎年この主日を大切に、被造物の一員としての自覚を新たにしたいと思います。

#### 質問随時募集中

講演会が終了し、それぞれの教会へ情報が持ち帰られ、意見交換がなされていくことと思います。講演会を一度聞いただけでは理解が難しいところもあったかと思えます。また、話し合う中で新たな疑問が出てきた、ということもあるかと思えます。そんな時は、是非とも疑問質問を事務局までお寄せください。

#### 【PSC事務局】

〒105-0011  
東京都港区芝公園3-6-18 日本聖公会東京教区事務局

mail:  
[powershift.tko@gmail.com](mailto:powershift.tko@gmail.com)  
[www.powershift.com](http://www.powershift.com)

### 講演会Q&A（内容一部要約）

**Q.わたしの通っている教会では、椰子がらを利用した新電力会社を利用しているのですが、再エネ電力としてどうでしょうか？**

A.パーム椰子の種の殻を燃やしての発電は、廃棄物の再利用という意味はあるかもしれないが、海外からの大規模輸送やプランテーション労働などの問題をはらんでおり、再エネの持続可能性の面からは疑問もあります。新電力会社を選ぶにあたり、発電施設のための環境破壊（山の切り崩しなど）で地域からの反対があるものなどは注意が必要で、地域と調和・合意して取り組んでいることが大切だと考えています。

**Q.どのようなキッカケや考え方で新電力に移行したのですか？**

（既に導入した複数の教会からの回答を一部ご紹介します）

A. ①ラジオで新電力のことを耳にし、ソーラーパネルがなくても再生エネルギーを利用できることを知ったから ②一人ひとりが地球環境を守っていくことについて学び、少しでも直接関わっていくことに繋がると考えたから ③東北の復興支援に繋がることができるから ④地域にある会社を利用できるから ⑤具体的な新電力会社の選定は、教会委員会で何度か協議して決めた ⑥当初、もちろん電気代を少しでも安くしたいと思ったが、最後は、仮りに多少高くなっても切り替えようと教会委員会では決断した。など

**Q.新電力会社に変えることで、停電などのリスクが増すのではないですか。また、料金や会社の安定性に心配はないのですか。**

A.電力自由化によっても送電は従来と変わらないので、停電などに関するリスクは従来と変わりません。料金については、教会の現在の契約状況の違いがあり正確には分かりませんが、一般的に現在より安価になることが多いようです。ただし、新電力会社の経営も電力取引所の市場原理のもとで行われており、料金の変動はありえます。なお、万が一、選択した新電力会社が破綻した場合でも電力供給が止まることはなく、新たに電力会社を選び契約することになります。

\* FoE、みんな電力のリーフレットは教区事務局に在庫あります。ご要望ある場合は左記まで連絡ください。また、各電力会社も資料請求するとすぐに対応していただくことができます。是非情報収集を！

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

